



令和4年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和3年6月11日

上場会社名 株式会社 精養軒

上場取引所 東

コード番号 9734 URL <https://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 令和3年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和4年1月期第1四半期の業績(令和3年2月1日～令和3年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年1月期第1四半期	189	32.7	258		201		218	
3年1月期第1四半期	282	67.2	287		285		312	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年1月期第1四半期	83.80	
3年1月期第1四半期	120.07	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
4年1月期第1四半期	5,424		2,256		41.6	867.51
3年1月期	5,620		2,468		43.9	948.86

(参考)自己資本 4年1月期第1四半期 2,256百万円 3年1月期 2,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年1月期		0.00		0.00	0.00
4年1月期					
4年1月期(予想)		0.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において令和4年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 令和4年1月期の業績予想(令和3年2月1日～令和4年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

令和4年1月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、我が国経済は深刻な打撃を受け、現在も収束の時期やその影響は見通すことができず、極めて不透明な状況にあります。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年1月期1Q	2,628,000 株	3年1月期	2,628,000 株
期末自己株式数	4年1月期1Q	27,422 株	3年1月期	27,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年1月期1Q	2,600,596 株	3年1月期1Q	2,600,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、製造業での業績回復が見られる一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が直撃した外食などの個人向けサービス業で赤字が拡大するなど、二極化の様相を呈しており、未だ先行きが不透明な状況が続いております。

飲食業界におきまして、昨年来、三度にわたる緊急事態宣言の発出による不要不急の外出自粛、集団会食に対する警戒感の高まり、他業種に比べ感染リスクが高いとの指摘をうけ、時短営業や酒類提供の停止、もしくは休業等の営業活動抑制を強いられ、大変厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社といたしましては、お客様と従業員の安心安全の確保を最優先課題と位置づけ、基本的な感染防止対策の徹底、ソーシャルディスタンスの確保、休業及び時短営業要請の受入れなど、政府方針に沿った対策を実施してまいりました。また、業務の効率化やコスト削減にも注力してまいりました。

しかしながら、当社店舗が集中する上野公園への来園者数の大幅減少や外食、宴会への警戒感などから、未だ過去に類を見ない業績低迷が続いております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は189百万円（前年同期比32.7%減）となりました。営業損失は258百万円（前年同期は営業損失287百万円）、経常損失は201百万円（前年同期は経常損失285百万円）、四半期純損失は218百万円（前年同期は四半期純損失312百万円）となりました。

当社といたしましては、新規事業の検討を含めた営業力強化、人材の育成、業務の効率化、コスト削減などを推進し、更なる収益力の改善に努めてまいり所存です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ196百万円減少し5,424百万円となりました。流動資産は197百万円減少の3,675百万円、固定資産は1百万円増加の1,749百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が69百万円及びそのほか134百万円減少したことによるものです。

固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産が5百万円減少した一方で、投資有価証券が5百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ15百万円増加し、3,167百万円となりました。流動負債は36百万円増加の264百万円、固定負債は21百万円減少の2,903百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、買掛金が14百万円及び賞与引当金が13百万円並びに資産除去債務が12百万円増加したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、長期前受収益が18百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ212百万円減少し2,256百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純損失の計上等で利益剰余金が218百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、令和3年及び令和4年をコロナ禍からアフターコロナへの移行期ととらえ、ワクチン接種が拡大する中、徐々に飲食需要が回復してくるものと予想されております。しかし未だ完全な新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せない中、現時点で合理的な業績予想の算定は困難であり、令和4年1月期第2四半期及び通期業績の予想は引続き未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和3年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,646,984	3,578,335
売掛金	12,912	18,488
たな卸資産	23,221	23,208
その他	189,685	55,358
貸倒引当金	△575	△405
流動資産合計	3,872,228	3,674,983
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	337,474	330,406
土地	609,188	609,188
その他（純額）	52,628	54,789
有形固定資産合計	999,290	994,383
無形固定資産		
投資その他の資産	2,023	3,050
投資有価証券	690,448	695,283
その他	55,806	55,806
投資その他の資産合計	746,254	751,088
固定資産合計	1,747,568	1,748,522
資産合計	5,619,795	5,423,505
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,739	19,803
未払金	64,263	53,391
未払費用	47,917	50,401
未払法人税等	844	769
前受収益	72,647	72,647
賞与引当金	11,390	24,220
資産除去債務	-	12,305
その他	25,232	30,717
流動負債合計	228,030	264,254
固定負債		
退職給付引当金	532,203	524,123
役員退職慰労引当金	130,930	134,738
繰延税金負債	126,482	124,628
長期前受収益	2,129,036	2,110,874
その他	5,501	8,861
固定負債合計	2,924,151	2,903,224
負債合計	3,152,181	3,167,477

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和3年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	2,104,418	1,886,478
自己株式	△20,650	△20,684
株主資本合計	2,219,498	2,001,524
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	248,116	254,504
評価・換算差額等合計	248,116	254,504
純資産合計	2,467,614	2,256,028
負債純資産合計	5,619,795	5,423,505

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和2年2月1日 至 令和2年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和3年2月1日 至 令和3年4月30日)
売上高	281,568	189,381
売上原価	191,984	149,490
売上総利益	89,584	39,891
販売費及び一般管理費	376,582	298,209
営業損失(△)	△286,998	△258,318
営業外収益		
受取利息	576	404
受取配当金	690	750
雇用調整助成金	-	48,776
雑収入	1,446	7,255
営業外収益合計	2,712	57,185
営業外費用		
減価償却費	639	35
営業外費用合計	639	35
経常損失(△)	△284,926	△201,168
特別損失		
固定資産除却損	254	-
減損損失	-	13,085
店舗閉鎖損失	-	3,435
特別損失合計	254	16,520
税引前四半期純損失(△)	△285,180	△217,688
法人税、住民税及び事業税	253	253
法人税等調整額	26,819	-
法人税等合計	27,071	253
四半期純損失(△)	△312,251	△217,940

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。